

2026年度

【4月入学】

【9月入学】

南山大学大学院 入学試験要項

国外在住者入学審査

■人間文化研究科

キリスト教思想専攻

宗教思想専攻

人類学専攻

言語科学専攻

■国際地域文化研究科

■社会科学研究科

■法学研究科

■理工学研究科（博士後期課程のみ）

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

■ 建学の理念	1
■ 3つのポリシー	1

■ 入学審査概要【2026年4月入学】	2
1. 募集研究科・募集人員	2
2. 審査日程	2
3. 審査方法	2
4. 出願資格	3
5. 出願書類	7
6. 出願書類についての注意事項	8
7. 出願書類記入上の注意	8

4月入学

■ 入学審査概要【2026年9月入学】	10
1. 募集研究科・募集人員	10
2. 審査日程	10
3. 審査方法	10
4. 出願資格	11
5. 出願書類	15
6. 出願書類についての注意事項	16
7. 出願書類記入上の注意	16

9月入学

■ 共通事項【2026年4月入学・2026年9月入学】	18
1. 入学検定料	18
2. 出願方法（郵送に限ります）	18
3. 受験票の受け取り	18
4. 合格発表	18
5. 入学手続	18
6. 入学試験に関する個人情報開示	19
7. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度	20
8. その他	21
南山大学構内図・南山大学アクセスマップ	

共通事項

■入試に関する情報は、南山大学大学院 Web ページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/>

不測の事態により、この要項に記したことに変更が生じる場合や、追加でお知らせする場合は、全てこのページに掲載します。適宜ページをご確認いただきますよう、お願いいたします。

■個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

あらかじめご了承ください。

■建学の理念

【建学の理念】

本学は「キリスト教世界観に基づく学校教育」を建学の理念とし、その建学の理念に具体的な方向性を与えるために「人間の尊厳のために（Hominis Dignitati）」という教育モットーを掲げています。

【目的】

本学大学院は大学学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としています。

したがって本学は、専門的研究に従事するために必要な素養を持ち、さらにその研究成果を人間の尊厳を尊重しつつ社会生活と人間性の向上に応用できる人材を受け入れることを目指しています。

■3つのポリシー

本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」をもとに、大学院の各研究科・専攻でディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を設けています。この3つのポリシーについては以下のWebページをご参照ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html>

■入学審査概要【2026 年 4 月入学】

入学時期は2026年4月です。合格者のうち、2026年3月卒業・修了見込者については内定とします。

1. 募集研究科・募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
人間文化	キリスト教思想	博士前期	各専攻とも若干名
		博士後期	
	人類学	博士前期	
		博士後期	
	言語科学	博士前期	
		博士後期	
国際地域文化	国際地域文化	博士前期	
		博士後期	
社会科学	経済学	博士前期	
		博士後期	
	経営学	博士前期	
		博士後期	
	総合政策学	博士前期	
		博士後期	
法学	法律学	博士前期	
		博士後期	
理工学	ソフトウェア工学 データサイエンス 機械電子制御工学	博士後期	

※オンラインによる事前面談について

出願に先立って、オンラインによる事前面談を実施します。出願を検討される方は入学センターに E-mail にてご連絡ください。事前面談の日程を調整いたします。

- ・志願者調書に「面談実施日」、「面談教員」を記入してください。
- ・事前面談の内容は点数化されず、審査の対象にはなりません。
- ・安定したインターネット環境を確保できない場合は、入学センターまでご相談ください。

2. 審査日程

審査	出願期間・入学検定料振込期間	合格発表 ※本学 Web ページにて
第Ⅰ期審査	2025 年 5 月 20 日(火)～6 月 19 日(木)【必着】	2025 年 7 月 17 日(木) 13:00
第Ⅱ期審査	2025 年 6 月 20 日(金)～8 月 26 日(火)【必着】	2025 年 9 月 18 日(木) 13:00
第Ⅲ期審査	2025 年 8 月 27 日(水)～11 月 7 日(金)【必着】	2025 年 12 月 5 日(金) 13:00

3. 審査方法

書類審査【配点 100 点】

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者、または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ各専攻の示す要件を満たす者

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
 - (9) 本学大学院各研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年3月末までに22歳に達している者
- 〔注〕出願資格（9）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、各期審査に定められた次表の期日までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

※ 個別の入学資格審査日程

審 査	申請期日
第Ⅰ期審査	2025 年 5 月 16 日（金）＜必着＞
第Ⅱ期審査	2025 年 6 月 4 日（水）＜必着＞
第Ⅲ期審査	2025 年 8 月 27 日（水）＜必着＞

各専攻の出願要件

専攻	出願要件
キリスト教思想	国外に在住する者（短期留学を除く）
人類学	国外に在住する者（短期留学を除く） なお、日本語を第一言語としない者については、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること
言語科学	国外に在住（短期留学を除く）し、かつ次の a, b いずれかの条件を満たす者
	a 日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた卒業論文）。 2) 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS (reading) 6 以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30 点中 18 点以上、英検準1級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要）
	b 英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 90 点以上、または IELTS で 7.0 以上のスコアを取得していること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要）
国際地域文化	国外に在住する者（短期留学を除く） * 日本語が第一言語（使用可能な言語のうち運用能力（熟達度）のもっとも高い言語）でない志願者は、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上（記述を含む点数）を満たしていること
経済学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
経営学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
総合政策学	国外に在住する者（短期留学を除く）
法律学	国外に在住する日本語を第一言語としない者（短期留学を除く）で、かつ出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語240点以上（記述を含めた場合は270点以上）を満たしていること

【備考】 社会科学研究科（経済学専攻・経営学専攻・総合政策学専攻）において、優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院各研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年3月末までに24歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、各期審査に定められた次表の期日までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

※ 個別の入学資格審査日程

審 査	申請期日
第Ⅰ期審査	2025 年 5 月 16 日（金）＜必着＞
第Ⅱ期審査	2025 年 6 月 4 日（水）＜必着＞
第Ⅲ期審査	2025 年 8 月 27 日（水）＜必着＞

各専攻の出願要件

専 攻	出願要件
宗教思想	国外に在住する者（短期留学を除く）
人類学	国外に在住する者（短期留学を除く） なお、日本語を第一言語としない者については、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること
言語科学	国外に在住（短期留学を除く）し、かつ次の a 、 b いずれかの条件を満たす者 a 言語習得論領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 [日本語について] ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要） [英語について] ・英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた修士論文）。 2) 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS (reading) 6 以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30 点中 18 点以上、英検準1級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要）

言語科学	b	英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 [英語について] ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） [日本語について] ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要）
国際地域文化	国外に在住する者（短期留学を除く）で以下の a または b の条件を満たす者	
	a	日本語での博士論文執筆希望者 「日本語能力試験 N1（旧1級）」（日本国際教育支援協会）または「日本留学試験」の『日本語』300点以上（記述を含む点数）（独立行政法人日本学生支援機構）を取得していること
	b	英語での博士論文執筆希望者 以下の【英語】および【日本語】の条件を満たしていること 【英語】 (1)～(3)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1) TOEFL-iBT：79点以上 (2) TOEFL-PBT：550点以上 (3) IELTS：6.0以上 ※ただし、英語が第一言語の者は、英語の語学能力証明書類の提出を免除する。 【日本語】 (1)～(2)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1)「日本語能力試験 N2（旧2級）」（日本国際教育支援協会） (2)「日本留学試験」の『日本語』語200点以上（独立行政法人日本学生支援機構） ※(1)または(2)と同等の日本語能力を有することを示す出身大学等の指導教員ないし日本語教育担当教員からの証明書類（推薦状）の提出も可とする。 ※日本の大学、大学院のいずれかを、日本語で授業を受け、卒業、修了（見込みを含む）した者は、日本語能力の証明書を免除とする。
経済学	外国の国籍を有し、国外に在住する者	
経営学	外国の国籍を有し、国外に在住する者	
総合政策学	国外に在住する者	
法律学	国外に在住する日本語を第一言語としない者（短期留学を除く）で、かつ、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語240点以上（記述を含めた場合は270点以上）を満たしていること	
理工学	国外に在住する者（短期留学を除く）	

〔備考〕 社会科学研究科（経済学専攻・経営学専攻・総合政策学専攻）において、優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学研究科事務室にお問合せください。

5. 出願書類 ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	志願者調査書	FormA
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	FormB
3	博士前期課程志願者 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部を卒業された方はそのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	博士後期課程志願者 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程または博士前期課程）の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
5	志望理由書 ・キリスト教思想専攻、宗教思想専攻、人類学専攻、言語科学専攻および法律学専攻志願者のみ	FormC
6	推薦書3通(厳封のもの) ・所定用紙(FormD)で作成してください。 〔ただし、経営学専攻は書式自由（推薦者の所属先の便箋等を使用すること。）〕	FormD
7	研究計画書	FormE
8	博士後期課程志願者のみ 論文（公刊・未公刊は問わない） ・修士論文または修士論文に相当する論文、その他の論文のコピーを提出してください。	
9	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻、法律学専攻および理工学研究科以外】 a. 英語が第一言語でない志願者は、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」の成績結果を提出してください。 b. 日本語が第一言語でない志願者は、公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語科目および総合科目の成績結果を提出してください。 ・キリスト教思想専攻、宗教思想専攻 ・人類学専攻 ・経済学専攻 ・経営学専攻 ・総合政策学専攻 b を提出（ a は任意） b を提出	FormF
10	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻】 言語科学専攻（博士前期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士前期課程）志願者 出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。 言語科学専攻（博士後期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	FormG
11	語学能力証明書【法律学専攻】 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。（必須） ・英語が第一言語でない志願者で、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。（任意）	FormH
12	博士後期課程志願者 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	Form I
13	修業年限短縮願【人間文化研究科】（希望者のみ）	Form J
14	入学検定料 12,000円	
15	パスポートの写し ・氏名の記載頁を提出してください。 ・日本国籍の方は居住国の在留資格の記載頁も提出してください。	
16	留学費支払能力に関する証明書 ・日本国籍以外の方のみ提出してください。 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	FormK

6. 出願書類についての注意事項

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報 は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3、4の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

7. 出願書類記入上の注意

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 志願者調書 (FormA)

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続での期間の連絡先（受験票および可否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。

(2) 研究計画書 (FormE) ※用紙が不足する場合はコピーしてください。

専攻 (課程)	記入方法
キリスト教思想専攻 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻領域（神学・哲学・宗教学）、研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。英語の場合は1,000～1,500語程度、日本語の場合は、3,000字程度（ワープロA4）でまとめること。
宗教思想専攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士〔前期〕課程修了見込者については既に行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を英語の場合は1,500語程度、日本語の場合は4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。
人類学専攻 (博士前期課程)	大学院進学のための目的、これまでの準備状況、また大学院での研究計画と将来の職業との関係について英語の場合は1,000語程度、日本語の場合は2,000字程度（ワープロA4）でまとめること。また人類学専攻の中で文化人類学と考古学のどちらの領域を主領域とする予定であるか、さらにどのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
人類学専攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士〔前期〕課程修了見込者については既に行った調査・研究の成果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を英語の場合は2,000語程度、日本語の場合は4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。

言語科学専攻 (博士前期課程)	大学院進学のための目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について英語の場合は750語程度、日本語の場合は2,000字程度でまとめる。言語科学専攻の中のどの領域を主に専攻していくかを考えているか、どのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
言語科学専攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期課程修了見込者については既に行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,500語程度でまとめること。
国際地域文化専攻 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。あわせて、①研究テーマ、②当該テーマに関して読んだ文献や先行研究、③研究方法、予想される研究成果や意義について明記してください。また、学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れ、3,000字～4,000字程度でまとめること。
国際地域文化専攻 (博士後期課程)	[1]研究に対するこれまでの準備状況〔修士論文、またはそれに相当するこれまでに行った研究、職務経験や職務上の調査・研究内容などを盛り込むこと〕、[2]今後の研究課題、および[3]博士後期課程3年間の具体的な活動計画を日本語4,000字（原則として、日本語での博士論文執筆希望者）、または英語1,500語程度（原則として、英語での博士論文執筆希望者：ワープロ原稿）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。 ※研究計画書の執筆言語は、内容を重視し志願者が言語による不利益を被らないように、日本語と英語以外も、中国語、インドネシア語、スペイン語のいずれも可とする。分量は日本語もしくは英語に準じる。
経済学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。これまでの勉学や経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、終了後のキャリア計画に触れて、日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000語程度でまとめること。
経営学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。英語の場合は、800～1,200語程度、日本語の場合は、3,200字～4,800字程度でまとめること。
総合政策学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。これまでの研究経緯、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること、日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は3,000語程度でまとめること。
法学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。これまでの勉学や職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画に触れて、4,000字程度でまとめること。
ソフトウェア工学専攻 データサイエンス専攻 機械電子制御工学専攻 (博士後期課程)	大学院進学のための志望動機、研究に対するこれまでの準備状況（卒業論文または修士論文の題目および要旨などを含む）、博士後期課程での具体的な活動計画をA4サイズ用紙2枚程度でまとめ、修士論文、最近2年間程度の学会・研究会発表論文等の研究成果資料のコピーとともに提出すること。

(3) 修業年限短縮願 (Form J) (人間文化研究科志願者のみ) (希望者のみ)

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに1年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

⇒その他の項目について、P.18以降の共通事項を参照してください。

■入学審査概要【2026 年 9 月入学】

入学時期は2026年9月です。合格者のうち、合格発表日以降の卒業・修了見込者については内定とします。

1. 募集研究科・募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
人間文化	キリスト教思想	博士前期	各専攻とも若干名
		博士後期	
	人類学	博士前期	
		博士後期	
	言語科学	博士前期	
		博士後期	
国際地域文化	国際地域文化	博士前期	
		博士後期	
社会科学	経済学	博士前期	
		博士後期	
	経営学	博士前期	
		博士後期	
	総合政策学	博士前期	
		博士後期	
法学	法律学	博士前期	
		博士後期	
理工学	ソフトウェア工学 データサイエンス 機械電子制御工学	博士後期	

※オンラインによる事前面談について

出願に先立って、オンラインによる事前面談を実施します。出願を検討される方は入学センターにE-mailにてご連絡ください。事前面談の日程を調整いたします。

- ・志願者調書に「面談実施日」、「面談教員」を記入してください。
- ・事前面談の内容は点数化されず、審査の対象にはなりません。
- ・安定したインターネット環境を確保できない場合は、入学センターまでご相談ください。

2. 審査日程

審査	出願期間・入学検定料振込期間	合格発表 ※本学 Web ページにて
第Ⅳ期審査	2026 年 1 月 26 日(月)～3 月 19 日(木)【必着】	2026 年 5 月 14 日(木) 13:00

3. 審査方法

書類審査【配点 100 点】

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者、または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ各専攻の示す要件を満たす者

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院各研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年8月末までに22歳に達している者

〔注〕出願資格（9）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、各期審査に定められた下表の期日までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

※ 個別の入学資格審査日程

審 査	申請期日
第Ⅳ期審査	2026 年 1 月 7 日（水）＜必着＞

各専攻の出願要件

専攻	出願要件
キリスト教思想	国外に在住する者（短期留学を除く）
人類学	国外に在住する者（短期留学を除く） なお、日本語を第一言語としない者については、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること
言語科学	国外に在住（短期留学を除く）し、かつ次の a, b いずれかの条件を満たす者
	a 日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた卒業論文）。 2) 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS (reading) 6 以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30 点中 18 点以上、英検準1級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要）
	b 英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 90 点以上、または IELTS で 7.0 以上のスコアを取得していること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要）
国際地域文化	国外に在住する者（短期留学を除く） ＊日本語が第一言語（使用可能な言語のうち運用能力（熟達度）のもっとも高い言語）でない志願者は、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上（記述を含む点数）を満たしていること
経済学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
経営学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
総合政策学	国外に在住する者（短期留学を除く）
法律学	国外に在住する日本語を第一言語としない者（短期留学を除く）で、かつ出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語240点以上（記述を含めた場合は270点以上）を満たしていること

〔備考〕 社会科学部研究科（経済学専攻・経営学専攻・総合政策学専攻）において、優れた研究業績のある者については、修業年限を1年および1年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学部研究科事務室にお問合せください。

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院各研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年8月末までに24歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業生または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、各期審査に定められた次表の期日までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

※ 個別の入学資格審査日程

審 査	申請期日
第Ⅳ期審査	2026 年 1 月 7 日（水）＜必着＞

各専攻の出願要件

専攻	出願要件
宗教思想	国外に在住する者（短期留学を除く）
人類学	国外に在住する者（短期留学を除く） なお、日本語を第一言語としない者については、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること
言語科学	国外に在住（短期留学を除く）し、かつ次の a 、 b いずれかの条件を満たす者
	a 言語習得論領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要） 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた卒業論文）。 2) 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS (reading) 6 以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30 点中 18 点以上、英検準1級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） b 英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること（ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書の提出は不要）
国際地域文化	国外に在住する者（短期留学を除く）で以下の a または b の条件を満たす者
	a 日本語での博士論文執筆希望者 「日本語能力試験N1（旧1級）」（日本国際教育支援協会）または「日本留学試験の『日本語』300点以上（記述を含む点数）」（独立行政法人日本学生支援機構）を取得していること b 英語での博士論文執筆希望者 以下の【英語】および【日本語】の条件を満たしていること 【英語】 (1)～(3)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1) TOEFL-iBT：79点以上 (2) TOEFL-PBT：550点以上 (3) IELTS：6.0 以上 ※ただし、英語が第一言語の者は、英語の語学能力証明書類の提出を免除する。 【日本語】 (1)～(2)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1)「日本語能力試験N2（旧2級）」（日本国際教育支援協会） (2)「日本留学試験の日本語200点以上」（独立行政法人日本学生支援機構） ※(1)または(2)と同等の日本語能力を有することを示す出身大学等の指導教員ないし日本語教育担当教員からの証明書類（推薦状）の提出も可とする。 ※日本の大学、大学院のいずれかを、日本語で授業を受け、卒業、修了（見込みを含む）した者は、日本語能力の証明書を免除とする。
経済学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
経営学	外国の国籍を有し、国外に在住する者
総合政策学	国外に在住する者
法律学	国外に在住する日本語を第一言語としない者（短期留学を除く）で、かつ、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語240点以上（記述を含めた場合は270点以上）を満たしていること
理工学	国外に在住する者（短期留学を除く）

〔備考〕 社会科学部研究科（経済学専攻・経営学専攻・総合政策学専攻）において、優れた研究業績のある者については、修業年限を1年、1年半、2年および2年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学部研究科事務室にお問合せください。

5. 出願書類 ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	志願者調査	FormA
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	FormB
3	博士前期課程志願者 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部を卒業された方はその総ての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
4	博士後期課程志願者 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程または博士前期課程）の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
5	志望理由書 ・キリスト教思想専攻、宗教思想専攻、人類学専攻、言語科学専攻および法律学専攻志願者のみ	FormC
6	推薦書3通（厳封のもの） ・所定用紙（FormD）で作成してください。 〔ただし、経営学専攻は書式自由（推薦者の所属先の便箋等を使用すること。）〕	FormD
7	研究計画書	FormE
8	博士後期課程志願者のみ 論文（公刊・未公刊は問わない） ・修士論文または修士論文に相当する論文、その他の論文のコピーを提出してください。	
9	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻、法律学専攻および理工学研究科以外】 a. 英語が第一言語でない志願者は、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」の成績結果を提出してください。 b. 日本語が第一言語でない志願者は、公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の日本語科目および総合科目の成績結果を提出してください。 ・キリスト教思想専攻、宗教思想専攻 ・人類学専攻 ・経済学専攻 ・経営学専攻 ・総合政策学専攻	FormF
	b を提出（ a は任意） b を提出	
10	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻】 言語科学専攻（博士前期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士前期課程）志願者 出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。 言語科学専攻（博士後期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	FormG
11	語学能力証明書【法律学専攻】 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。（必須） ・英語が第一言語でない志願者で、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。（任意）	FormH
12	博士後期課程志願者 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	Form I
13	修業年限短縮願【人間文化研究科】（希望者のみ）	Form J
14	入学検定料 12,000円	
15	パスポートの写し ・氏名の記載頁を提出してください。 ・日本国籍の方は居住国の在留資格の記載頁も提出してください。	
16	留学費支払能力に関する証明書 ・日本国籍以外の方のみ提出してください。 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	FormK

6. 出願書類についての注意事項

- (1) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

あらかじめご了承ください。

- (2) 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- (3) 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3、4の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

7. 出願書類記入上の注意

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 志願者調書 (FormA)

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続での期間の連絡先（受験票および可否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。

(2) 研究計画書 (FormE) ※用紙が不足する場合はコピーしてください。

専 攻 (課程)	記 入 方 法
キリスト教思想専攻 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻領域（神学・哲学・宗教学）、研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。英語の場合は1,000～1,500語程度、日本語の場合は、3,000字程度（ワープロA4）でまとめること。
宗 教 思 想 専 攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士〔前期〕課程修了見込者については既に行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を英語の場合は1,500語程度、日本語の場合は4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。
人 類 学 専 攻 (博士前期課程)	大学院進学のための目的、これまでの準備状況、また大学院での研究計画と将来の職業との関係について英語の場合は1,000語程度、日本語の場合は2,000字程度（ワープロA4）でまとめること。また人類学専攻の中で文化人類学と考古学のどちらの領域を主領域とする予定であるか、さらにどのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
人 類 学 専 攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士〔前期〕課程修了見込者については既に行った調査・研究の成果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を英語の場合は2,000語程度、日本語の場合は4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。

言語科学専攻 (博士前期課程)	大学院進学のための目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は750語程度でまとめる。言語科学専攻でどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
言語科学専攻 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期課程修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,500語程度でまとめること。
国際地域文化専攻 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。あわせて、①研究テーマ、②当該テーマに関して読んだ文献や先行研究、③研究方法、予想される研究成果や意義について明記してください。また、学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れ、3,000字～4,000字程度でまとめること。
国際地域文化専攻 (博士後期課程)	[1]研究に対するこれまでの準備状況〔修士論文、またはそれに相当するこれまでに行った研究、職務経験や職務上の調査・研究内容などを盛り込むこと〕、[2]今後の研究課題、および[3]博士後期課程3年間の具体的な活動計画を日本語4,000字（原則として、日本語での博士論文執筆希望者）、または英語1,500語程度（原則として、英語での博士論文執筆希望者：ワープロ原稿）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。 ※研究計画書の執筆言語は、内容を重視し志願者が言語による不利益を被らないように、日本語と英語以外も、中国語、インドネシア語、スペイン語のいずれも可とする。分量は日本語もしくは英語に準じる。
経済学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。これまでの勉学や経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、終了後のキャリア計画に触れて、日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000語程度でまとめること。
経営学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。英語の場合は、800～1,200語程度、日本語の場合は、3,200字～4,800字程度でまとめること。
総合政策学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語または英語で記述してください。これまでの研究経緯、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること、日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は3,000語程度でまとめること。
法学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。これまでの勉学や職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画に触れて、4,000字程度でまとめること。
ソフトウェア工学専攻 データサイエンス専攻 機械電子制御工学専攻 (博士後期課程)	大学院進学の志望動機、研究に対するこれまでの準備状況（卒業論文または修士論文の題目および要旨などを含む）、博士後期課程での具体的な活動計画をA4サイズ用紙2枚程度でまとめ、修士論文、最近2年間程度の学会・研究会発表論文等の研究成果資料のコピーとともに提出すること。

(3) 修業年限短縮願 (Form J) (人間文化研究科志願者のみ) (希望者のみ)

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに1年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

⇒その他の項目について、P.18以降の共通事項を参照してください。

■ 共通事項【2026 年 4 月入学・2026 年 9 月入学】

1. 入学検定料

12,000 円

- (1) 海外在住者で日本国外から入学検定料を納入する場合は、上記入学検定料に手数料 3,000 円を加えた金額を下記の口座へ銀行振込してください。
- (2) 入学検定料を支払った証拠書類として、取引明細（またはそのコピー）を他の出願書類とともに提出してください。

受取人名 Account holder	学校法人南山学園 Gakko Hojin Nanzan Gakuen
銀行名, 支店名 Bank, Branch	三菱 UFJ 銀行 八事支店 MUFG Bank, Ltd, Yagoto Branch (Branch number 266)
SWIFTCODE	BOTKJPJT
銀行住所 Bank address	466-0061 名古屋市天白区八事天道 318 318 Yagototendo, Tenpaku-ku, Nagoya 466-0061, Japan (Tel: +81 52 8318181)
口座番号 Type of Account, Account Number	当座 510882 Toza (checking), 510882

2. 出願方法（郵送に限ります）

- (1) 出願期間 → P.2 (2026 年 4 月入学)、P.10 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 出願書類を配達の確認が可能な方法＜例 EMS, FedEx, DHL 等＞で送付してください。
代理人等により日本国内から郵送する場合は、出願書類を市販の角型 2 号サイズの封筒に入れて「簡易書留速達郵便」で送付してください。なお、封筒の表には必要事項を記入した所定のラベルを貼付してください。所定のラベルは、本学 Web ページよりダウンロードすることもできます。
- (3) 提出された出願書類に不備があった場合、本学から E-mail・電話等により連絡します。出願書類に不備があり、出願期間内に解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。
- (4) 一旦提出された出願書類および入学検定料は原則として返還しません。

3. 受験票の受け取り

受験票は E-mail の添付ファイルでお送りします。次表の日を過ぎても未着の場合のみ、入学センターに連絡してください。

第Ⅰ期審査	2025 年 7 月 8 日 (火)
第Ⅱ期審査	2025 年 9 月 9 日 (火)
第Ⅲ期審査	2025 年 11 月 25 日 (火)
第Ⅳ期審査	2026 年 5 月 7 日 (木)

4. 合格発表

- (1) 合格発表日 → P.2 (2026 年 4 月入学)、P.10 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 合格者の受験番号を、本学 Web ページに掲載します。(https://www.nanzan-u.ac.jp/)
- (3) 合格発表当日、可否通知書を発送します。合格者には、入学手続書類を同封します。
- (4) 郵便、電話、E-mail 等による問い合わせには一切応じません。

5. 入学手続

- (1) 入学手続期間

【2026 年 4 月入学】

合格発表日		手続期間【消印有効】
第Ⅰ期審査	2025 年 7 月 17 日(木)	2025 年 7 月 18 日(金)～ 7 月 24 日(木)
第Ⅱ期審査	2025 年 9 月 18 日(木)	2025 年 10 月 17 日(金)～10 月 23 日(木)
第Ⅲ期審査	2025 年 12 月 5 日(金)	2025 年 12 月 15 日(月)～12 月 22 日(月)

【2026 年 9 月入学】

合格発表日		手続期間【消印有効】
第Ⅳ期審査	2026 年 5 月 14 日(木)	2026 年 5 月 28 日(木)～6 月 8 日(月)

- (2) 所定の期間内に「授業料その他の納入金の納入」と「Web フォーム入力」「必要書類の提出」を完了する必要があります。詳細は合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。
- (3) 所定の期間内に手続を行わなかった者は、入学資格を失います。
- (4) 在留資格認定証明書交付申請が必要な方は、入学手続が完了してからでないと手続が行えませんので、ご注意ください。
- (5) 入学手続の際に必要な納入金は次のとおりです。

人間文化研究科、国際地域文化研究科、社会科学研究科、法学研究科（単位：円）

納 入 金	入学手続時納入金
入 学 金	300,000
授 業 料（半期分）	287,000
施 設 設 備 費（半期分）	52,500
海外送金銀行取り扱い手数料	3,000
合 計	642,500 *1

理工学研究科（単位：円）

納 入 金	入学手続時納入金
入 学 金	300,000
授 業 料（半期分）	327,000
施 設 設 備 費（半期分）	52,500
海外送金銀行取り扱い手数料	3,000
合 計	682,500 *1

***1** 上表以外に、同窓会関係の諸費を必要とします。入学手続時の納入金額については、合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。

- ・ 本学卒業者等の合格者については、入学後、入学金相当額の奨学金が給付されます。
- ・ 外国人学生のうち、カトリック系修道会等所属学生または、私費外国人留学生と認定された場合には、授業料および施設設備費の2分の1が減免されます。
- ・ 各種減免制度の対象となる場合、入学手続時に申請書等の必要書類を提出してください。詳細は「入学手続案内」Web ページをご確認ください。
- ・ 博士前期課程または修士課程において、南山大学大学院学則第 69 条第 1 項により 1 年で修了する者の初年度授業料は上記の 1.5 倍です。ただし、1 年で修了しない場合の 2 年目の授業料は上記の 0.5 倍となります。
- ・ 博士後期課程において、授業料等の支援（減免）を行う制度があります。後述の「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」を参照してください。

一旦提出された書類および入学金（入学手続延期手数料を含む）は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。

なお、入学手続後に入学を辞退されるときは、2026 年 4 月入学の場合は 2026 年 3 月 31 日（火）〈必着〉までに、2026 年 9 月入学の場合は 2026 年 9 月 11 日（金）〈必着〉までに、本人および保証人連名の文書で返還請求があった場合に限り、納入金のうち入学金（入学手続延期手数料を含む）以外の授業料、施設設備費等を返還します。詳細については、「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。

6. 入学試験に関する個人情報開示

大学院入学試験受験者に係る個人情報開示について、受験者本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、次の要領でお申込みください。

(1) 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は不可）

(2) 申込方法

次の書類等を封筒に入れ、表面に「入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で本学入学センター宛に送付してください。

ア．南山大学大学院入学試験に係る個人情報開示請求書（様式１）：本学 Web ページよりダウンロード

イ．開示を希望する入学試験受験票：コピー不可。個人情報開示書とともに返送します。

ウ．開示手数料：定額小為替 500 円分

(3) 書類の送付・お問い合わせ先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地 南山大学入学センター

Phone : +81-52-832-3119

Fax : +81-52-832-3592

E-mail : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

7. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。

出願時に所定用紙「南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書」を提出した場合、入学試験合格者に対し、本奨学支援の資格の有無を審査します。奨学支援の資格有と認められた場合は、授業料等の減免を受けることができます。審査結果は、入学試験の合格通知書と合わせて通知します。

<制度の概要>

支 援 内 容 : 授業料および施設設備費の半額を減免する

支 援 期 間 : 1 年間

*ただし、同様の手続を行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能
(年度毎に審査有)

審 査 : 申請に基づき、所属する研究科の研究科委員会において、博士の学位取得への意志を確認すると同時に研究計画および研究業績を測り、支援（減免）の資格の有無を決定する

*審査において、出願時に提出した書類（研究計画書等）を使用

8. その他

(1) 日本語を**第一言語**としない方の日本語能力の目安について

各研究科・専攻の授業を履修するためには、原則として以下の表程度の日本語能力が必要です。

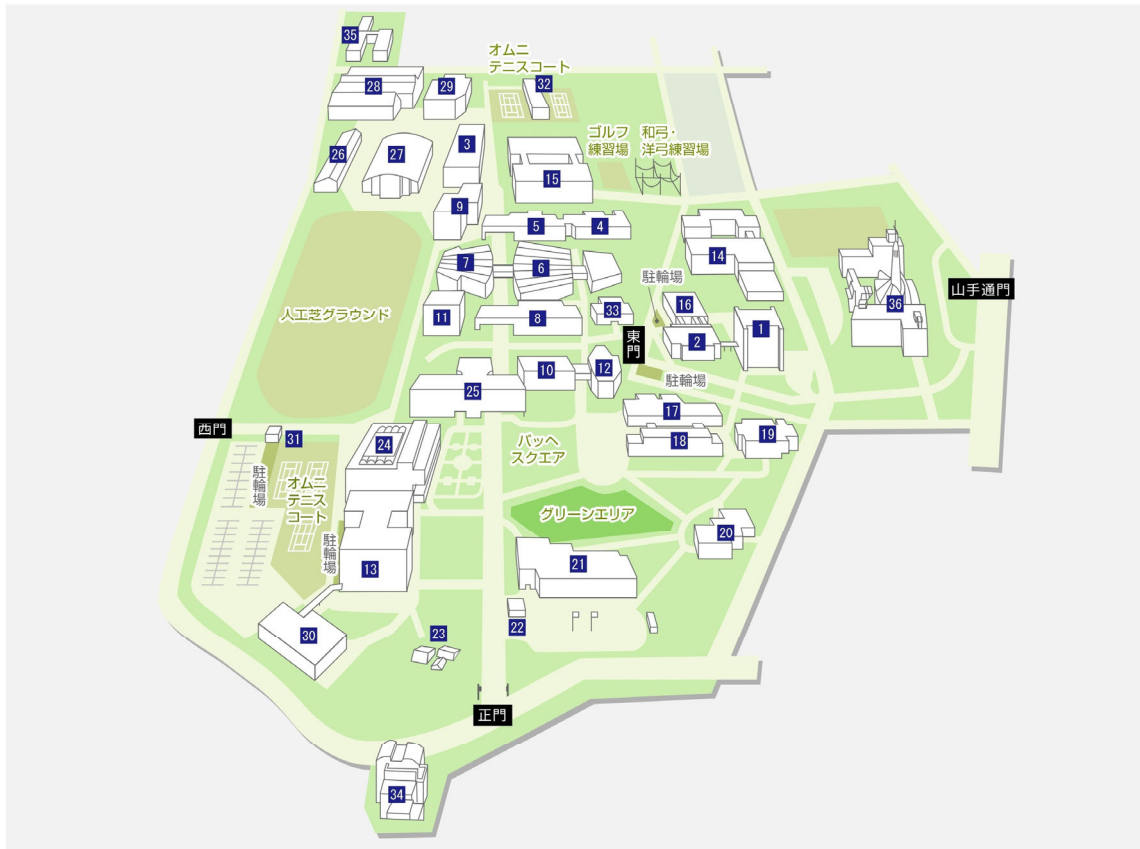
専攻 (課程)	公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 「日本語能力試験」	独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 日本留学試験「日本語」
キリスト教思想専攻 (博士前期課程)	N 1 (旧 1 級)	2 0 0 点
宗教思想専攻 (博士後期課程)	N 1 (旧 1 級)	3 0 0 点
人類学専攻 (博士前期・後期課程)	N 1 (旧 1 級)	3 0 0 点
言語科学専攻 (博士前期課程) 日本語教育領域	N 1 (旧 1 級)	3 6 0 点
言語科学専攻 (博士後期課程) 言語習得論領域で 日本語教育を専攻する者	N 1 (旧 1 級)	3 8 0 点
国際地域文化専攻 (博士前期課程)	N 1 (旧 1 級)	3 0 0 点
国際地域文化専攻 (博士後期課程)	N 1 (旧 1 級) ないし N 2 (旧 2 級) 程度 (博士論文執筆言語による)	3 0 0 点 ないし 2 0 0 点 程度 (博士論文執筆言語による)
経済学専攻 (博士前期・後期課程)	N 1 (旧 1 級)	2 0 0 点
経営学専攻 (博士前期・後期課程)	N 1 (旧 1 級)	2 2 0 点
総合政策学専攻 (博士前期・後期課程)	N 1 (旧 1 級)	2 1 0 点
法学専攻 (博士前期・後期課程)	N 1 (旧 1 級)	2 4 0 点 以上 (記述を含めた場合は 2 7 0 点 以上)
ソフトウェア工学専攻 データサイエンス専攻 機械電子制御工学専攻 (博士後期課程)	N 2 (旧 2 級)	2 0 0 点

(2) 一部の講義は、平日の夜間(18:30～)または、土・日曜日に開講されることもあります。詳細については、各研究科事務室にお問い合わせください。

(3) 国際地域文化専攻(博士後期課程)における博士論文の執筆言語は、日本語または英語となります。

(4) ソフトウェア工学専攻、機械電子制御工学専攻、データサイエンス専攻において、英語による授業・研究指導を希望する場合は、相談に応じます。

南山大学 構内図



教室棟

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>1 A棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法科大学院棟 ・法曹実務教育研究センター <p>2 B棟</p> <p>3 D棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係研究センター ・学生交流センター ・教職センター ・保健センター <p>(保健室／学生相談室)
／大学生生活支援室</p> <p>4 E棟</p> <p>5 F棟</p> | <p>6 G棟</p> <p>7 G30</p> <p>8 H棟</p> <p>9 J棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営研究センター ・社会倫理研究所 ・アメリカ研究センター ・ラテンアメリカ研究センター ・ヨーロッパ研究センター ・アジア・太平洋研究センター ・地域研究センター図書室 <p>10 K棟</p> | <p>11 L棟：ヒルシュマイヤー記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語学研究センター ・視聴覚教育センター <p>12 M棟</p> <p>13 R棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッテンホール ・国際センター ・外国語教育センター ・ワールドプラザ ・ジャパンプラザ ・多文化交流ラウンジ ・人類学博物館 ・礼拝室 ・南山エクステンション・カレッジ事務室 | <p>14 S棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報センター ・理工学研究センター ・BISTRO CEZARS ・丸善 ・LAWSON ・ラーニング・commons <p>15 Q棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援課 ・ラーニング・commons |
|---|---|---|--|

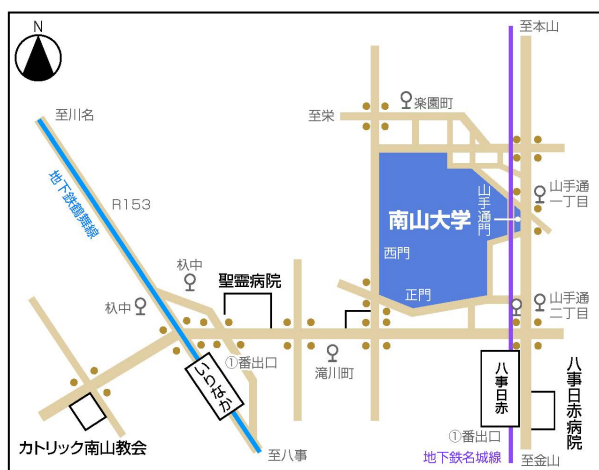
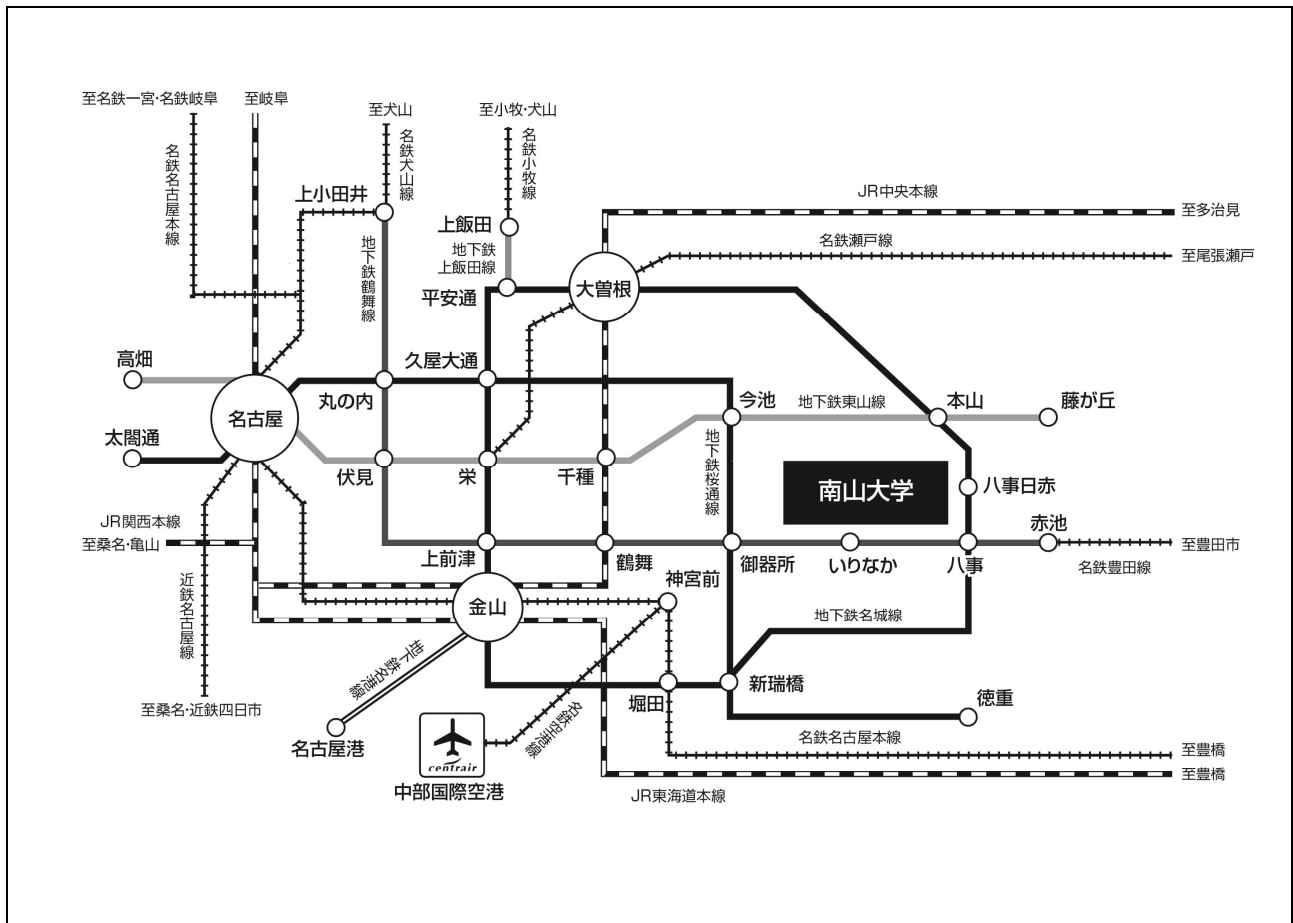
その他の施設

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>16 C棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課 ・教務課 ・SWFFTS MAGIC Lab. <p>17 N棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>18 第2研究室棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>19 南山宗教文化研究所／人類学研究所</p> <p>20 同窓会館</p> <p>21 本部棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学センター ・教学企画課 ・研究推進課 ・ウエルオン | <p>22 総合受付</p> <p>23 茶室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方寸庵・也有の席 <p>24 南山大学ライネルス中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>25 第1研究室棟</p> <p>26 クラブハウス</p> <p>27 体育館</p> <p>28 体育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育教育センター ・メインアリーナ ・室内プール ・第3食堂 | <p>29 コバン：学生会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修センター ・ブオーノ ・CEZARS CAFE ・LAWSON ・咖喱日和 ・紀伊國屋書店 ・NES <p>30 リアソ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアソカフェ ・クラブハウス | <p>31 西門受付</p> <p>32 第2クラブハウス</p> <p>33 ロゴセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教センター <p>34 南山大学名古屋交流会館</p> <p>35 南山大学ヤンセン国際寮</p> |
|---|--|---|--|

神言会施設

- 36 神言神学院**

南山大学 アクセスマップ



【 交通案内 】

地下鉄名城線「八事日赤」駅

1 番出口より徒歩約 8 分

地下鉄鶴舞線「いりなか」駅

1 番出口より徒歩約 15 分



南山大学

Admissions Center, Nanzan University

18 Yamazato-cho, Showa-ku, Nagoya 466-8673 Japan

Queries are welcome by e-mail at : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

Further information is available at the web site :

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

■入試に関するお問い合わせ先

■書類送付先

南山大学入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

E-mail ml-grad@nanzan-u.ac.jp

Phone (052) 832-3119 (直通)

■履修内容等に関するお問い合わせ先

人間文化研究科事務室 Phone+81-52-832-4326 (直通)

国際地域文化研究科事務室 Phone+81-52-832-4327 (直通)

社会科学研究科事務室 Phone+81-52-832-4341 (直通)

法学研究科事務室 Phone+81-52-832-8011 (直通)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

南山大学は、ジブリパークのオフィシャルパートナーです。